

第1回 地域脱炭素の 実現に向けた 勉強会



先着
50名

参加
無料

日時

2月1日(木) 第1部 13:00 ~ 14:20 (すべての方対象)
第2部 14:40 ~ 15:30 (市内事業者対象)

会場

八幡浜市民スポーツセンター・サブアリーナ
(オンラインも実施予定)

プログラム
(予定)

13:00-13:20

① 趣旨・市の取組み説明

13:20-14:30

② 福島の事例による講演
エネルギー・エージェンシー
ふくしま フェロー 柿崎隆夫氏

第1部

14:30-14:40

休憩

14:40-15:30

③ 意見交換会(対象者のみ)

第2部

趣旨

- 本市が宣言した2050年カーボンニュートラル実現のためには、「地域の中で」太陽光発電など再エネ導入、省エネ設備への転換が不可欠であり、市民、事業者、行政、金融機関等が一体となり進める必要があります。
- 今回の勉強会では、再エネ・省エネの導入を地域の技術を活かす新しい産業のタネとしてとらえ、福島の事例から再エネ・省エネ分野の地場産業化への取り組みについて学び、意見交換を通じて、地域の新たな連携体制の立ち上げを目指します。

対象

- 再エネ・省エネ設備の施工側の事業者、再エネ・省エネ設備の導入側の事業者、行政関係者、金融関係者など
- 再エネ分野の今後の動向や、市内においても産業として拡大することに興味がある方。脱炭素の普及拡大を、まちづくりやビジネスのチャンスとして捉えている方。

第1回 地域脱炭素の実現に向けた勉強会

講師



柿崎 隆夫 (かきざきたかお)氏

博士(工学)

所属・役職:エネルギー・エージェンシーふくしま フェロー
通信系企業の研究開発の統括、大学教授などを経て、
2019年よりエネルギー・エージェンシーふくしまへ参加。
県内企業の技術開発、事業開発及び再生可能エネルギー
事業への新規参入支援、事業化ワーキンググループの立
ち上げなど、様々な事業支援活動を推進。

エネルギー・エージェンシーふくしま とは

2011年3月の東日本大震災からの復興に向けた主要施策の一つに「再生可能エネルギーの飛躍的な推進による新たな社会づくり」を位置付け、「再生可能エネルギーの飛躍的な推進」と「再生可能エネルギー関連産業の集積」という目標の元、再生可能エネルギー関連産業におけるトップランナーを目指す福島県が、目標達成のための推進母体として、2017年4月に設立した組織。

市の取組み

- 八幡浜市地球温暖化実行計画と今後の方向性について
- 市民スポーツセンターへの地中熱導入事例と今後について

説明:市民福祉部 生活環境課 脱炭素推進係

申込方法

左記の二次元バーコードより、入力フォームもしくは、下記のE-mail・TELにてお申込みください。



<必要事項>

1. お名前
2. ご所属・部署
3. 電話番号
4. 参加方法(会場・オンライン)
5. 第1部、第2部の参加について

※第2部は、原則として市内事業者の方に限らせていただきます。

※申込締切:1月25日(木)

なお、定員50名に達した場合、締切日前でも募集を締め切ります。

※いただいた個人情報は、本業務の運営の目的にのみに使用します。

問合せ先:八幡浜市 市民福祉部 生活環境課 脱炭素推進係

E-mail:kankyous@city.yawatahama.ehime.jp TEL:0894-22-3115